



取付説明書

地上デジタルTVチューナ

DTV 105

取付説明書：090003-2894A700

取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。「取扱説明書」、「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様へ

取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

- 本製品に同梱されているB-CASカードをデジタルTVチューナに挿入する前に、お客様に“B-CASカード使用許諾契約約款”を読んでいただき、承諾していただいた後に“B-CASカード”を台紙から取り出してください。
- B-CASカードは、お客様とB-CAS社との個別の直接契約となります。

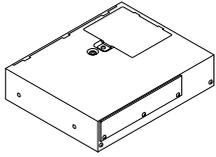
もくじ

取り付ける前に	構成部品	2
	安全に正しくお使いいただくために	3
	B-CASカードの挿入	5
	取り付け概要図	7
接続について	接続端子の名称と役目	8
	システム接続例	10
取り付けについて	フィルムアンテナの取り付け	11
	ポールアンテナの取り付け	19
	TVチューナの取り付け	23

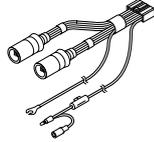
構成部品

作業前に構成部品が揃っているか確認してください。

本体関係



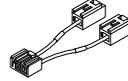
① TVチューナ
× 1



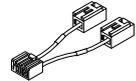
② 接続コード
(12P-DIN13P) × 1



③ 接続コード
(DIN13P) × 1



④ 接続コード
(フロント用緑色コネクタ)
× 1



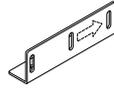
⑤ 接続コード
(リア用青色コネクタ)
× 1



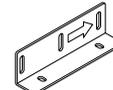
⑥ 接続コード
(RGB用) × 1



⑦ 接続コード
(NTSC用) × 1



⑧ L型ブラケット (A)
× 1



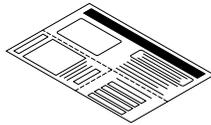
⑨ L型ブラケット (B)
× 1



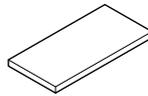
⑩ 六角ボルト
(M5×8) × 4



⑪ タッピングネジ
× 4

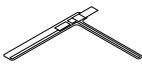


⑫ B-CAS カード
× 1



⑬ プチルテープ
(50×100) × 2

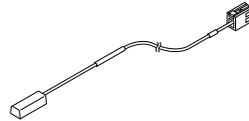
フィルムアンテナ関係



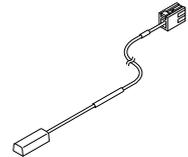
⑭ フィルムアンテナ (左)
× 1



⑮ フィルムアンテナ (右)
× 1



⑯ アンテナコード (左)
(白色チューブ)
× 1



⑰ アンテナコード (右)
(緑色チューブ)
× 1



⑱ 導電性布テープ
× 2

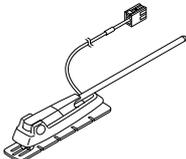


⑲ クリーナ (布)
(フィルム・ポールアンテナ用)
× 2

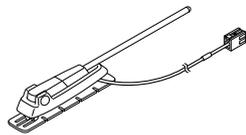


⑳ ヘラ
× 1

ポールアンテナ関係



㉑ ポールアンテナ (左)
(青色チューブ)
× 1



㉒ ポールアンテナ (右)
(黄色チューブ)
× 1



㉓ 六角レンチ
× 1



㉔ 防水クッション
× 2

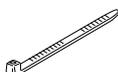


㉕ 両面テープ
× 2

配線用部品



㉖ コードレール
× 4



㉗ バンドクランプ
× 4



㉘ ハーネス固定テープ
× 3



㉙ クランプ
× 8

安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機取り付けのために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



アドバイス

本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと
知っておくと便利なこと、知っておいていただきたいこと

警告

- 本機はDC12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。
- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
- 車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に取り付けしない。これらを使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
- 作業中のショート事故防止のため、取り付け前に必ずバッテリーの ⊖ 端子をはずす。感電や怪我の原因となります。
- 車両のボルトやナットを使用してアースを取る場合は、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のネジは使用しないで下さい。事故などの原因となります。
- コード類は運転操作の妨げにならないよう、テープ等でまとめてください。ステアリングやシフトレバー／ブレーキペダルなどに巻くと危険です。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなど異常が起きましたら直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故、火災、感電の原因となります。
- 助手席にエアバッグが装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には取り付けしないでください。万一の作動時に正常な機能を発揮できなくなり危険です。
- 視界や運転の妨げになる場所へは取り付けしないでください。交通事故の原因となります。

注意

- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気・ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。
- 振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けは避けてください。外れて事故や怪我の原因となることがあります。
- 正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- コード類を配線するときは、車両側部品とのかみ込みに注意してください。断線やショートにより事故や感電・火災の原因となることがあります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

B-CAS カードの挿入

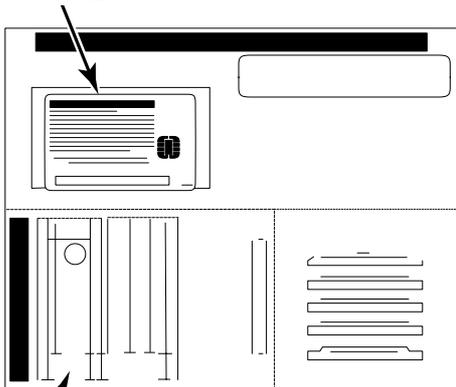
アドバイス

- カードの説明書に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
- B-CAS カードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。
- 「使用許諾契約約款」を、よくお読みください。
- バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
- ダッシュボードの上など、高温になるところにカードを放置しないでください。
- カードの不具合と確認された場合は、お客様よりカスタマーセンターにお問い合わせ下さい。
修理センターなどでカード交換を行なった際、発生した作業工賃などの費用は、お客様のご負担となります。
- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月から原則として1回だけ録画可能なコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

— B-CAS カードについて —

⑫ B-CAS カード (添付)

- デジタル放送の視聴のために必要なカードです。

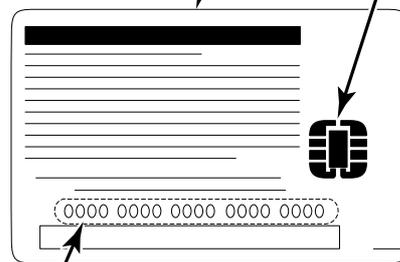


ユーザー登録はがき

- はがきまたはWebでユーザー登録をしてください。
(登録は無料です。)

⑫ B-CAS カード

IC (集積回路)



B-CAS カード番号

- 有料番組に契約内容などを管理するための大切な番号です。
お問い合わせの際に必要です。
裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

— B-CAS カード取り扱い上の留意点 —

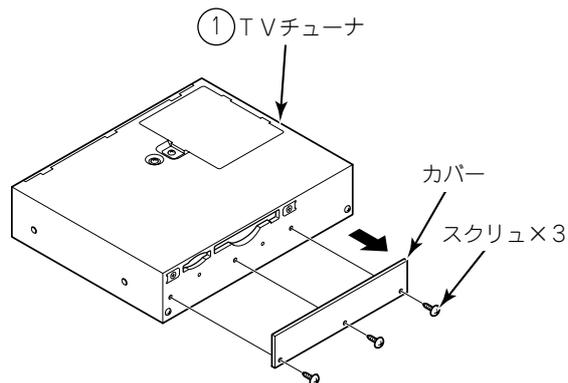
- 折り曲げたり、変形させない。
- IC(集積回路)部には手をふれない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 分解加工は行わない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。

— B-CAS カードについてのお問い合わせは —

(株) ビーエス・コンディショナルアクセス・システムズ カスタマーセンター TEL0570-000-250

— B-CASカードを挿入する —

- 1 TVチューナのカードスロットカバーを取り外す。

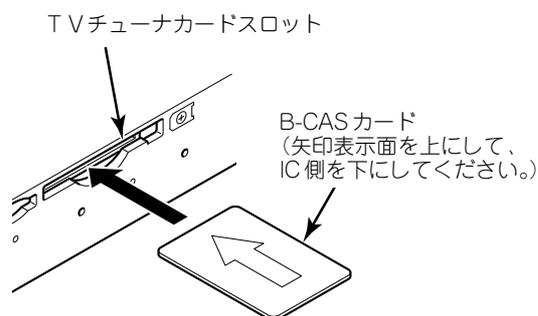


- 2 カードスロットにB-CASカードを矢印表示面を上にして挿入する。

⚠ 注意

- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

- 3 TVチューナにカードスロットカバーを元通りに取り付ける。



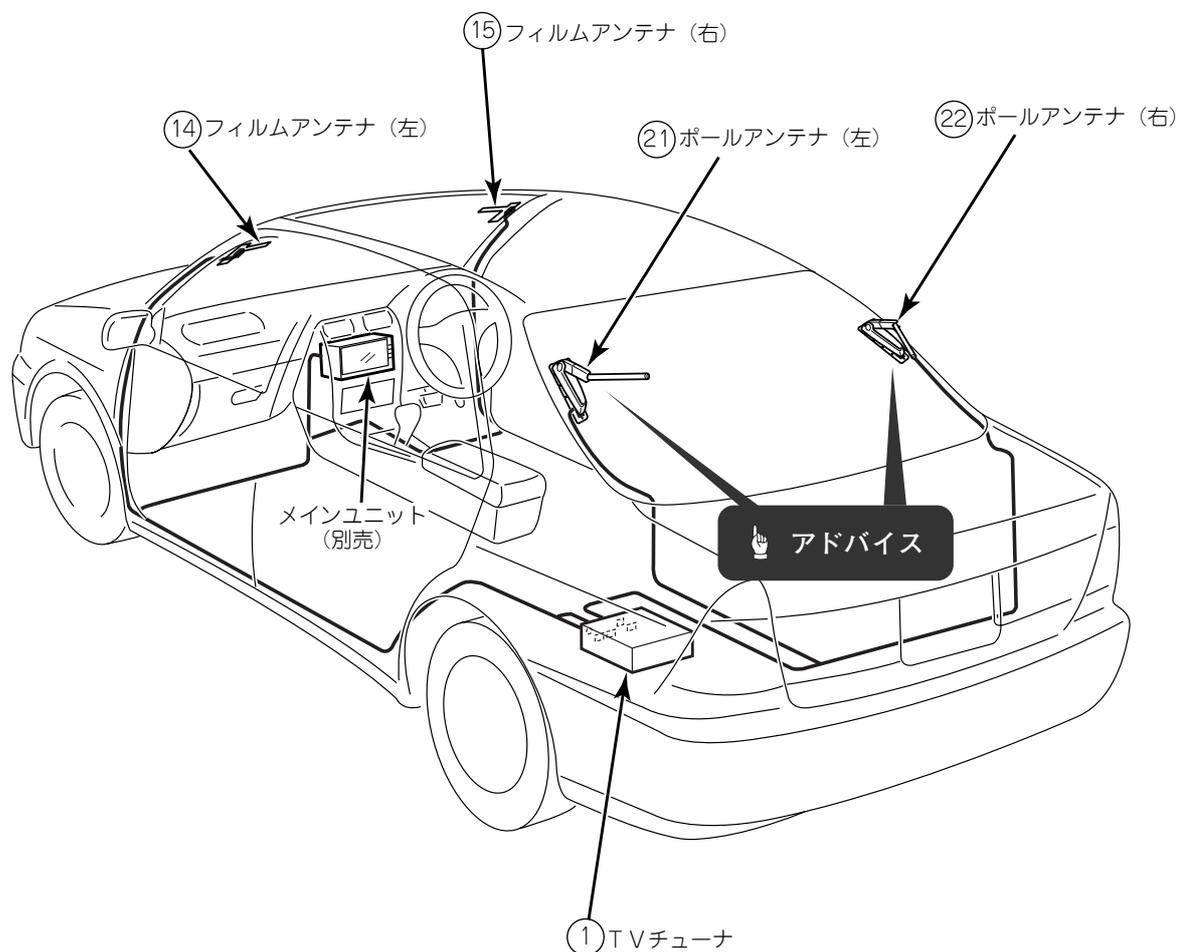
— B-CASカードを抜く —

- 1 エンジンを切る。(ACCオフ)
- 2 ゆっくりとB-CASカードを抜く。

⚠ 注意

- B-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。(詳しくは、取扱説明書をご参照ください)
- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードの動作確認を行ってください。(詳しくは、取扱説明書をご参照ください)

取り付け概要図



アドバイス

- フィルムアンテナ (左、右) およびポールアンテナ (左、右) は、必ず取り付けてください。どちらかを取り付けずに使用すると、受信感度が極端に低下します。また、別売のメインユニットに同梱されているフィルムアンテナについても必ず取り付けを行ってください。
- ポールアンテナは、必ず車両中心にむくように折り曲げて使用してください。アンテナを折り曲げずに真っ直ぐなままで使用すると受信感度が、極端に低下します。

接続端子の名称と役目

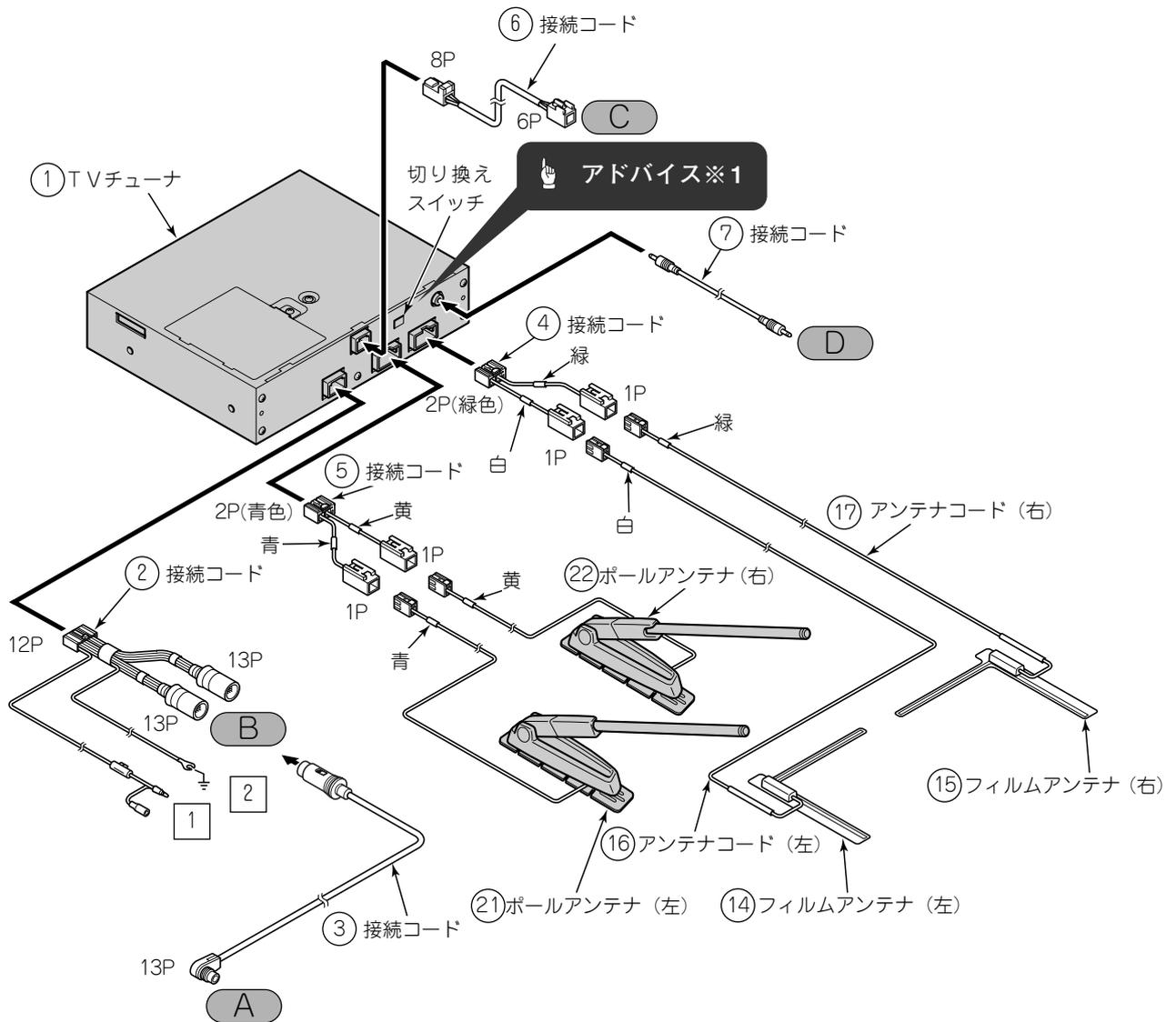
警告

- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

アドバイス ※1

- 切り換えスイッチは、工場出荷時の“B側”でご使用ください。

A/B



アドバイス

- 接続コード、②、③、⑥、⑦の線色および接続先、A～D及び用途は9ページを参照ください。
- BのDINコード（メス側）2本は、同じ機能のためどちらを使用しても問題ありません。

◆接続コード② & ③ & ⑥ & ⑦の線色および接続先

1 バッテリー電源端子 (黄色)

車のキーに関係なく常時電源が加わっているところに接続します。

2 アースコード (黒色)

車のボディのアースが確実に取れる所へ取り付けます。

A

LAN 通信端子 13P

別売のメインユニットに接続します。

B

LAN 通信端子 13P

別売のメインユニットへの接続や、別売のCDチェンジャー等と組み合わせる場合に接続します。

C

デジタルTV外部接続端子 6P

別売のメインユニットのデジタルTV用外部入力端子に接続します。

D

デジタルTV外部接続映像端子 (RCA)

別売のメインユニットのデジタルTV用外部入力映像端子に接続します。

⚠ 注意

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。
また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。
- 著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してください。

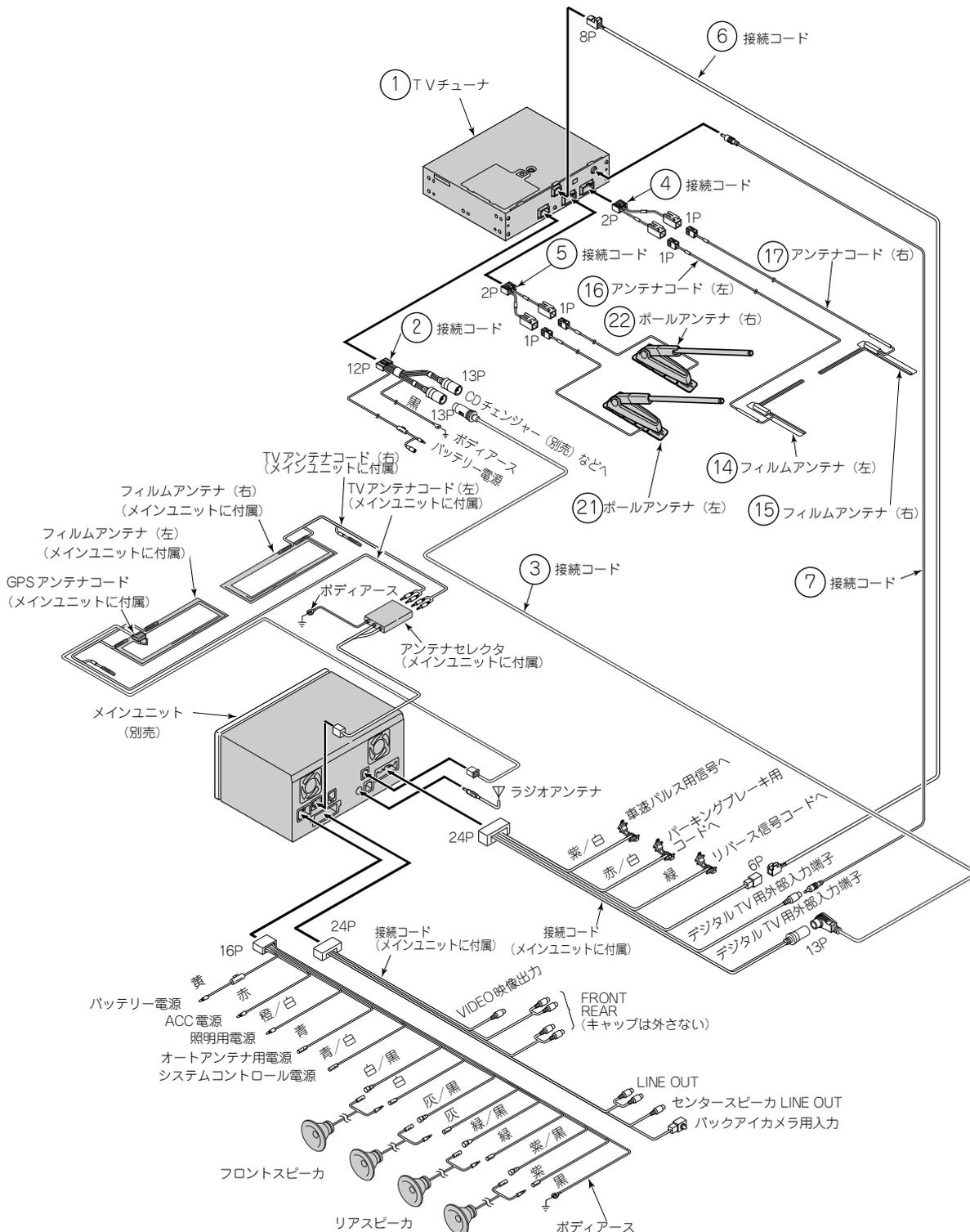
システム接続例

警告

- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

アドバイス

メインユニットに接続する前に各ユニットの取付及び配線を行ってください。



フィルムアンテナの取り付け

取り付け上のご注意

⚠ 警告

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因になります。

⚠ 注意

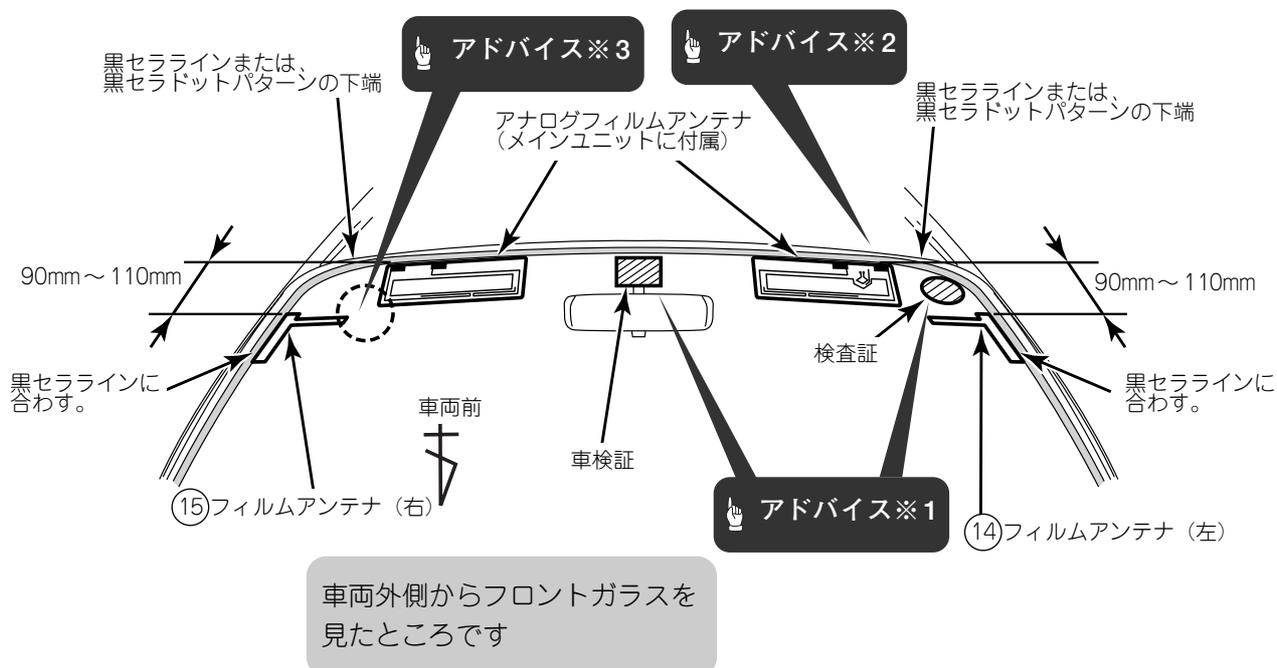
- 取付説明書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず指示通りに取り付けてください。
- お車のフロントガラスにAM/FMラジオアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように貼り付けてください。

👉 アドバイス

- フィルムアンテナは、一度貼付けた後はがしての再貼り付けはできません。また、作業中の貼り直しをくり返すとフィルムアンテナのノリの粘着力が弱くなりますので行わないでください。
- このフィルムアンテナは、フロントガラス上部への取り付けのみとなります。その他の場所への取り付けは行わないでください。
- 取付位置表面の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。
- フィルムアンテナ及びコードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。表面処理を傷める原因となります。
- フィルムアンテナは非常にデリケートなため作業時の取扱いには十分ご注意ください。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。
- フィルムアンテナ貼付位置は、車両ボディ、ピラー等の金属部分にあまり近付けすぎますと性能が劣化する場合がありますので取付の注意事項に従った取付作業を行ってください。

ーフィルムアンテナ取り付け位置ー

以下の項目に注意して取付作業を行なってください



アドバイス

フィルムアンテナは、フロントガラス内側の上部へ取り付けてください。その他の場所への取り付けは行わないでください。

※1

- フィルムアンテナは、車検証、検査証と重ならないように位置を決めてください。
- フィルムアンテナは車両フロントガラス面内側に貼り付けてください。

※2

- フィルムアンテナは、黒セララインまたは、黒セラドットパターン下端から90mm～110mm程度離して位置を決めてください。

※3

- デジタルフィルムアンテナとアナログフィルムアンテナの間は、重ならないようにしてください。

ーフィルムアンテナの取付要領ー

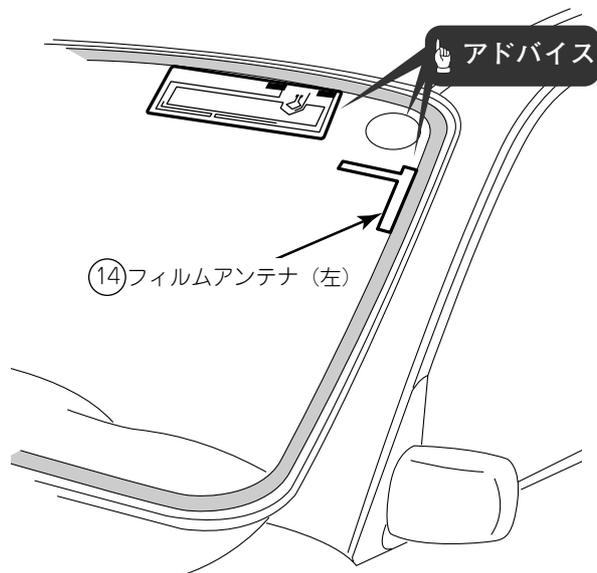
👉 アドバイス

フィルムアンテナを取り付ける前にフィルムアンテナ貼付部のフロントガラス面を付属のクリーナー（布）で汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。

- 1** フィルムアンテナの取付位置を決めるためにフロントガラス外側にフィルムアンテナをあてる。

👉 アドバイス

- フィルムアンテナは、アナログフィルムアンテナ、車検証、検査証と重ならないように位置を決めてください。
- ここでは、フィルムアンテナのハクリ紙をはがさないでください。
- フィルムアンテナの取付作業は、左側を表しています。
右側も同様に作業を行ってください。



車両外側からフロントガラスを見たところ

- 2** フィルムアンテナの(A)部を車両の黒セララインまたは黒セラドットパターンの端に合わせる。

※黒セラライン

：黒色セラミックラインの略。フロントガラス端の黒い色部分。

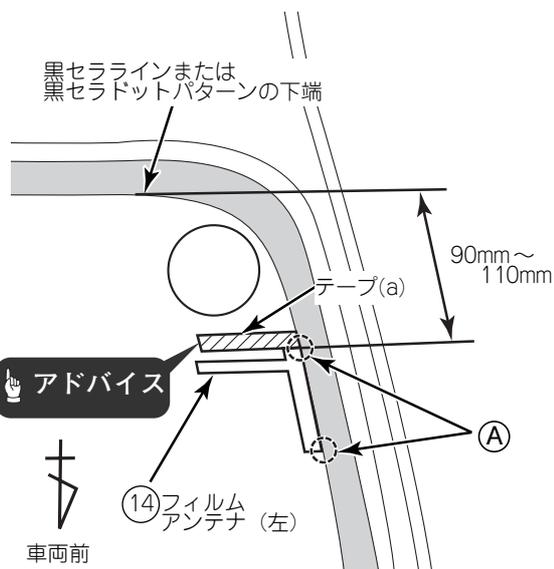
※黒セラドットパターン

：黒色セラミックドットパターンの略。フロントガラス端の黒色のドット（点々）部分。

- 3** フィルムアンテナの左右両端をテープ等でマーキングする。【テープ(a)】

👉 アドバイス

テープはフロントガラスに跡形が残らないもの（ビニールテープ等）を使用してください。



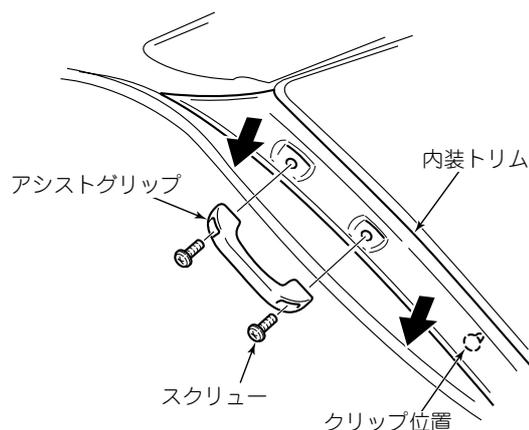
車両外側からフロントガラスを見たところ

4 車両内装トリムを取り外す。

 **アドバイス**

- 樹脂製の内装トリムは、クリップや、ネジ等で固定されており、無理に外すと破損したり変形する事があります。
- 取り外し作業が困難な場合は、車のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。
(作業工賃はお客様にご負担いただく場合があります。)

—内装トリム取り外し (例) —

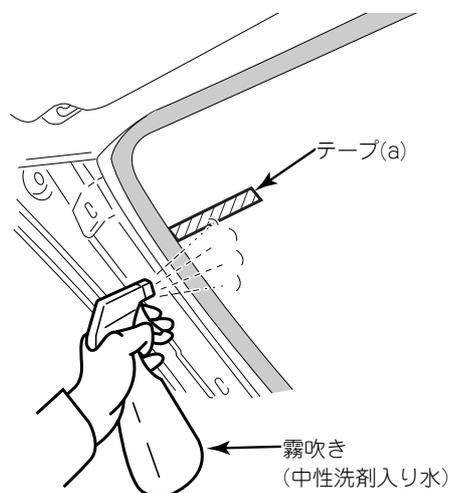


5 車両の内装に水が掛からないようにシートやタオル等を使用して保護してください。

6 車両室内側のフィルムアンテナ貼り付け位置のフロントガラス面に、中性洗剤を1～2滴を加えた水を均一に霧吹きでスプレーする。

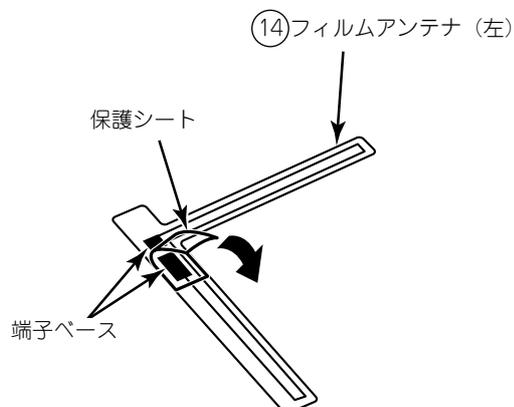
 **アドバイス**

霧吹きは、水400～500mlの水に対し中性洗剤1～2滴を加えた物をご使用してください。



車両内側からフロントガラスを見たところです

7 フィルムアンテナ端子ベースの保護シートを取り外す。

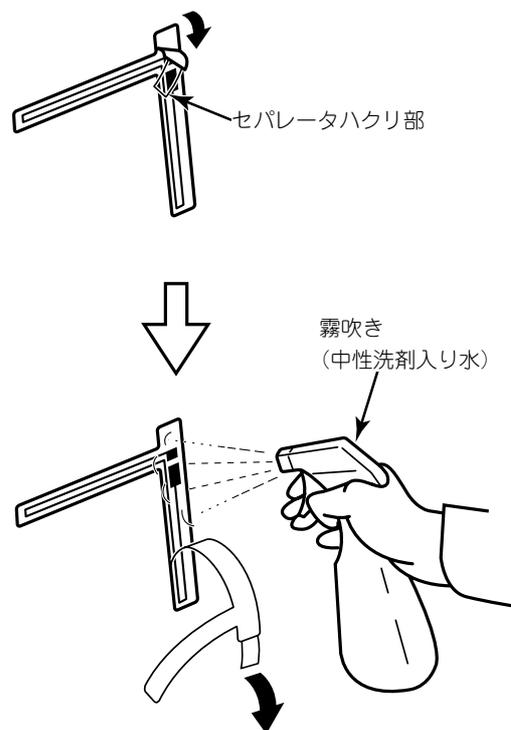


8 フィルムアンテナのセパレータハクリ部からセパレータをはがす。

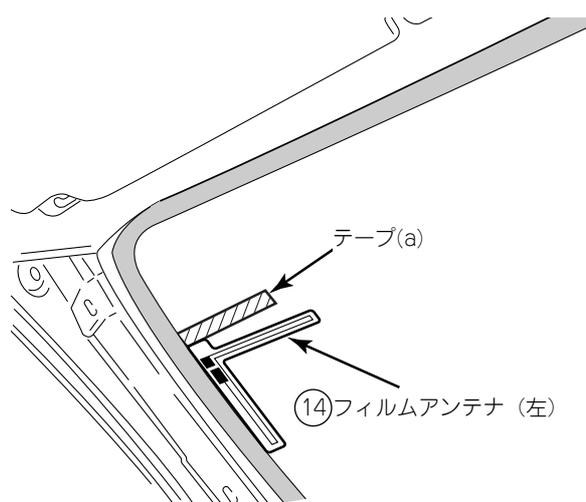
9 フィルムアンテナの貼り付け面に、中性洗剤を1～2滴を加えた水を均一に霧吹きでスプレーする。

アドバイス

- フィルムアンテナの貼り付け面に指紋やホコリ等がつかないように注意してください。
- 霧吹きは、水400～500mlの水に対し中性洗剤1～2滴を加えた物をご使用してください。



10 マーキング位置【テープ(a)】に合わせてフィルムアンテナをフロントガラス面（車室内側）に貼り付ける。



11 シワやキズが付かないように注意してフィルムアンテナとガラス面との間に入った水、気泡を付属のヘラを使用して押し出す。

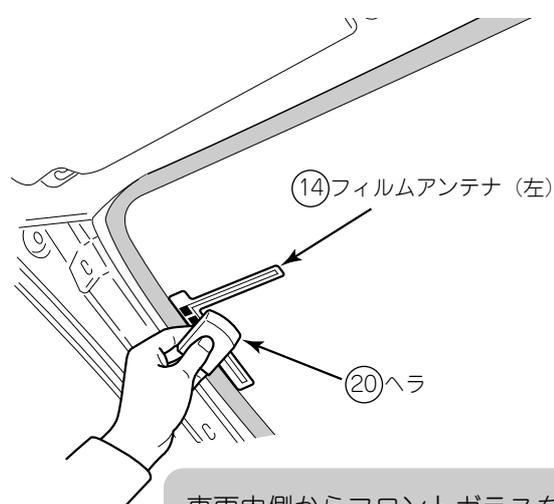
アドバイス

- フィルムアンテナが動かないように押さえながら作業を行ってください。
- 気泡が抜けない場合は、針を利用して空気抜きを行ってください。

12 余分な水分をタオルや柔らかい布などで拭き取る。

アドバイス

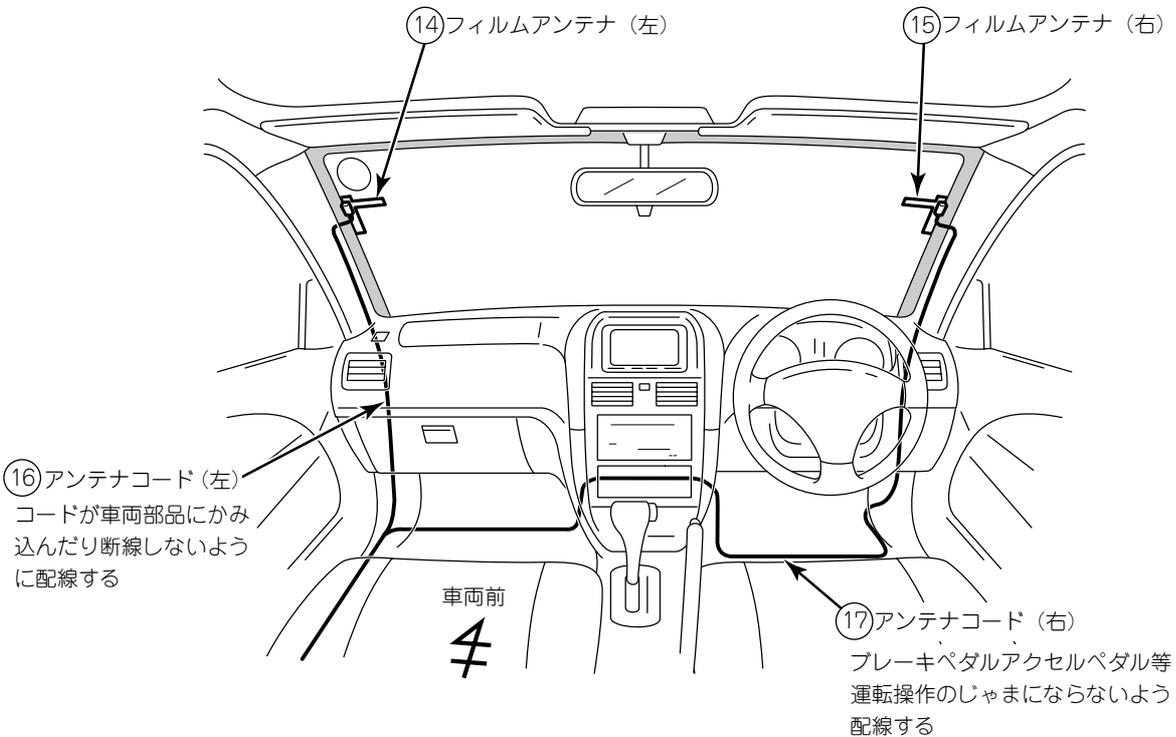
ドライヤー等で無理に乾かさないでください。フィルムアンテナ破損の原因となります。



車両内側からフロントガラスを見たところです

—フィルムアンテナ配線概要（例）—

フィルムアンテナコードの配線概要です。

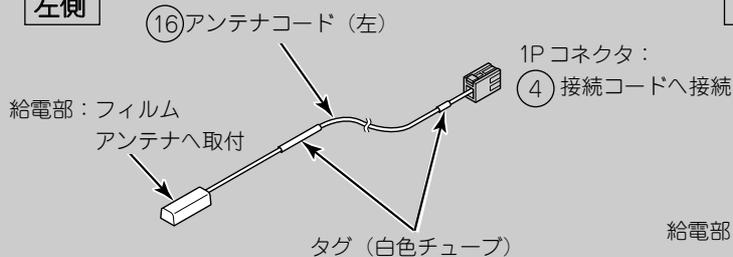


—アンテナコードの配線要領—

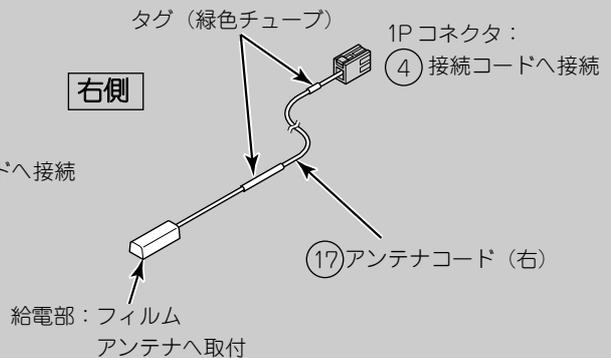
アドバイス

アンテナコードの各取付先を確認してください。

左側



右側

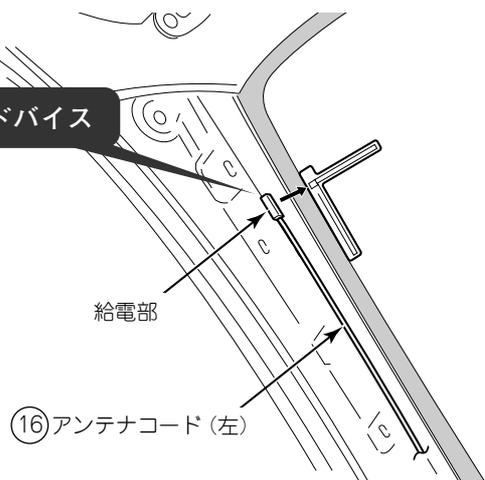


13 アンテナコード給電部をフィルムアンテナの端子ベース位置に合わせアンテナコードの長さを調整する。

アドバイス

ここでは、給電部をフィルムアンテナに貼り付けないでください。

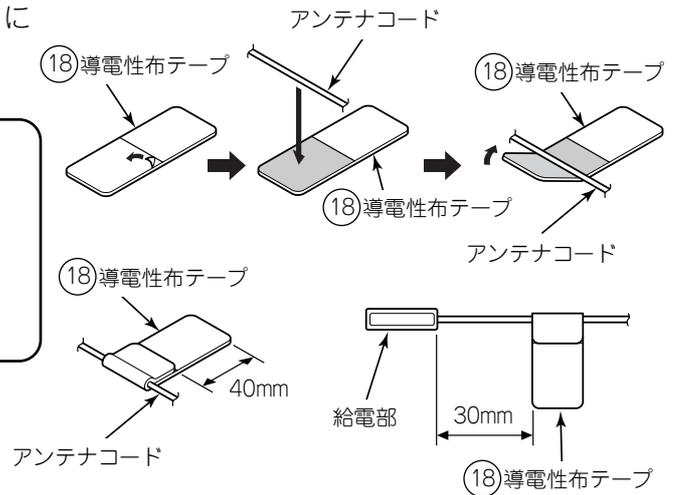
アドバイス



14 アンテナコードに導電性布テープを、巻くように貼り付ける。

アドバイス

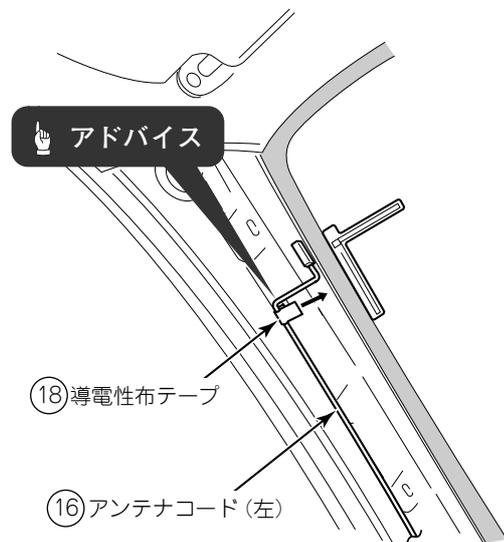
- 導電性布テープを、必ず貼り付けてください。貼り付けない場合は、受信感度が低下し、TV映りが悪くなる場合があります。
- 導電性布テープの半分を使用して巻くように貼り付けてください。



15 導電性布テープを車両に貼り付ける。

アドバイス

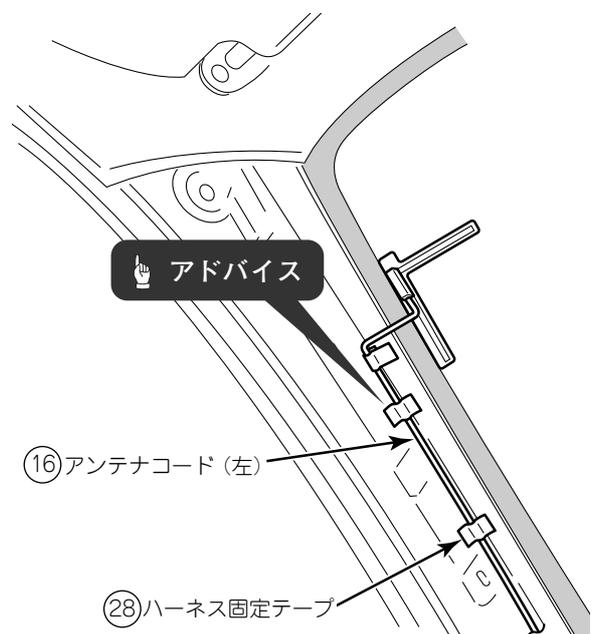
導電性布テープは、必ず車両の金属部分に全体を貼り付けてください。クリップ穴部、ネジ穴部等へは貼り付けないでください。また、ボディの塗装をはがさないでください。



16 アンテナコードをハーネス固定テープで固定しながら配線する。

アドバイス

- ハーネス固定テープは、はさみ等で切って使用してください。以降も同様に行ってください。
- ハーネス固定テープは、車両クリップ穴や、ネジ穴等をふさがないように貼り付けてください。



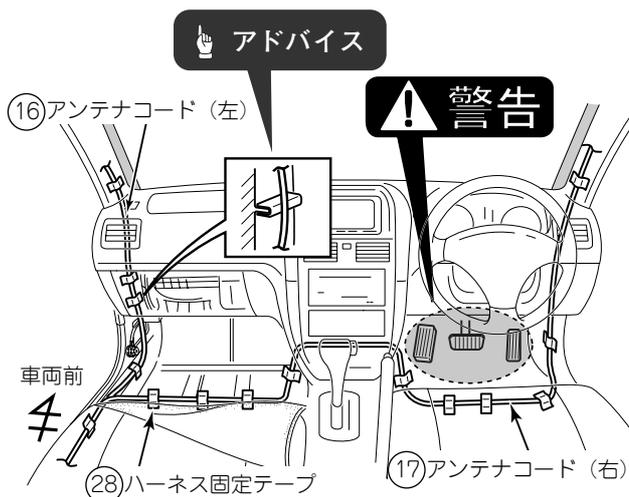
👉 アドバイス

- アンテナコードは車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、ハーネス固定テープをエッジ部分に貼り付けてください。
- 右側アンテナコードの取り付けは、左側と同様の手順で行ってください。

- 17 アンテナコードをハーネス固定テープで固定しながらデジタルTVチューナ取付位置まで配線する。

⚠️ 警告

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。



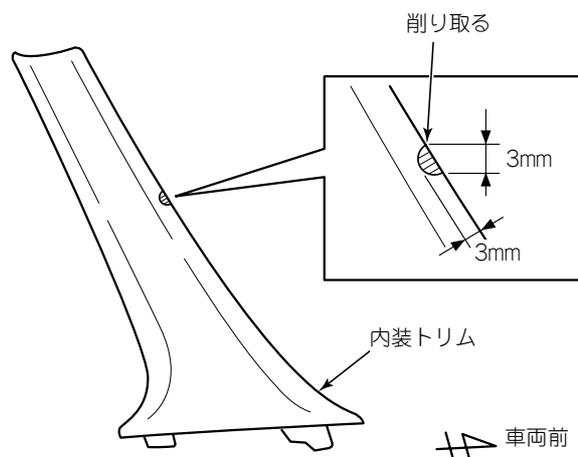
—内装トリムの加工—

- 18 取り外した内装トリムを車両に仮組みして、アンテナコードと干渉するところを確認してください。

- 19 内装トリムのアンテナコードと干渉するところを削り取ってください。

👉 アドバイス

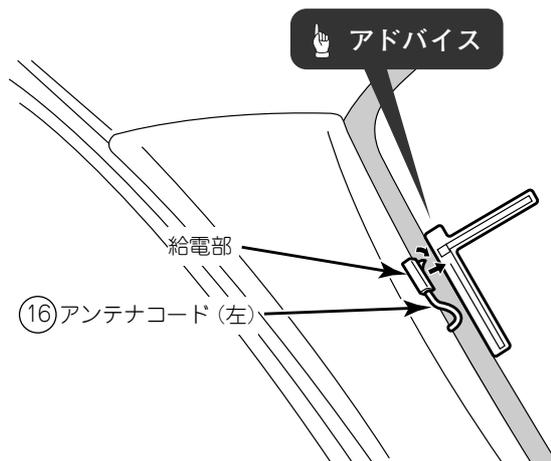
- 内装トリムの一部を削り取った後、切り粉を取り除き削り取った箇所のバリをヤスリ等で取り除いてください。
- 車両内装トリムを復元した際、コードにかみ込みが無い事を確認してください。
- 図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。



- 20 アンテナコード給電部をフィルムアンテナの車両内側の端子ベースに貼り付ける。

👉 アドバイス

- 給電部はフィルムアンテナが完全に乾いていることを確認してから貼り付けてください。乾く前に貼り付けるとはがれる場合があります。
- アンテナコード給電部はフィルムアンテナの端子ベース全体に貼り付けてください。



ポールアンテナの取り付け

警告

- アンテナエレメントが車幅からはみ出さない場所、また、車の前後からはみ出さない場所を選んで取り付けてください。歩行者等に接触して思わぬ事故も原因となることがあります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。
- アンテナ取付ブラケットは、取付面が全面密着するように貼り付けてください。接着面積が少ないと走行中はがれる危険性があります。

アドバイス

—取り付け場所について—

- アンテナは必ず車両外側のリアガラスに取り付けてください。
- 湿気が多い時は、野外での取り付けはしないでください。
(粘着力が弱くなり、走行中にはがれる危険性があります。)
- 気温が低い(20℃以下)と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。

—取り付け・取り扱い上のご注意—

- アンテナ本体及びケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。(変質したりすることがあります。)
- 洗車の際にはアンテナ本体をはずしてください。(②③六角レンチを使用してください。元に戻す際は、ボディに傷を付けないよう保護をし、ゆるまないよう確実に固定してください。)
やむを得ずアンテナ本体を取り付けた状態で洗車をする場合は、車室内への水の侵入を防ぐために配線部への直接放水は避けてください。
- アンテナを取り外す場合、アンテナ本体を持って取り外してください。コードを持って引っ張ると断線等により故障の原因となることがあります。
- ポールアンテナは、一度貼付けた後はがしての再貼り付けはできません。また、作業中の貼り直しをくり返すとポールアンテナのノリの粘着力が弱くなりますので行わないでください。
- 取付位置表面の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。

—取り付け後—

- 走行してもさしつかえありませんが、24時間は絶対に水をかけたり、雨にあてたり、引っ張る等無理な力を加えないで、自然放置してください。

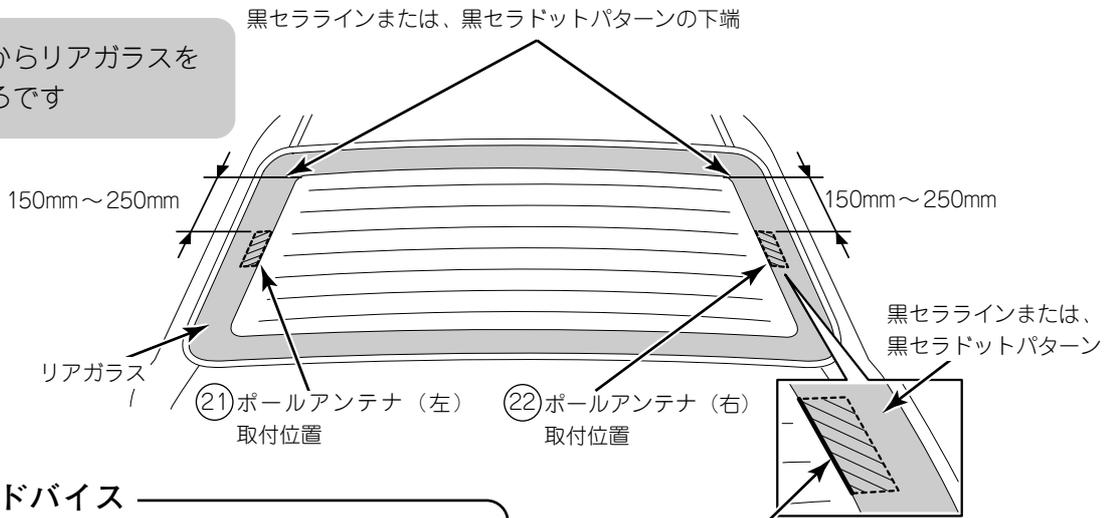
—アンテナ取り付け位置—

以下の項目に注意して取付作業を行なってください

👉 アドバイス

ポールアンテナは、リアガラス外側へ取り付けてください。その他の場所への取り付けは行わないでください。

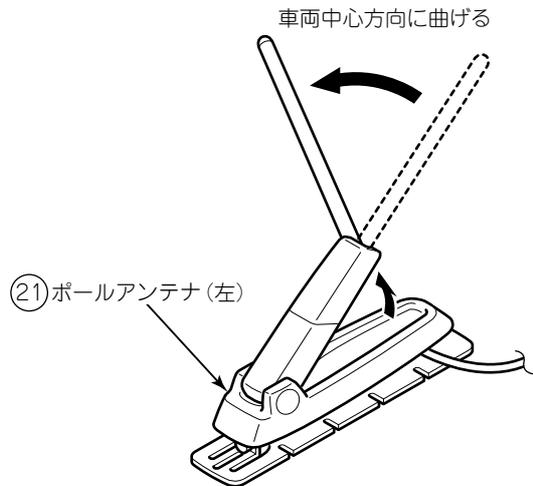
車両外側からリアガラスを見たところです



👉 アドバイス

- 車側へ取り付ける前に、アンテナ取付ブラケットをリアガラス形状に合わせて曲げてください。
- ポールアンテナは、黒セララインまたは黒セラドットパターンの下端から150mm～200mm程度離して位置を決めてください。
- アンテナ取付ブラケットの幅が、黒セララインまたは黒セラドットパターンの幅より狭い場合、黒セララインまたは黒セラドットパターンの内側のラインに合わせて取付位置を決めてください。
(アンテナ取付ブラケットの幅が、黒セララインまたは黒セラドットパターンの幅より広い場合、黒セララインまたは黒セラドットパターンからはみ出しますが、性能上問題ありません。)
- ポールアンテナは、必ず車両中心にむくように折り曲げて使用してください。アンテナを折り曲げずに真っ直ぐなままで使用すると受信感度が、極端に低下します。

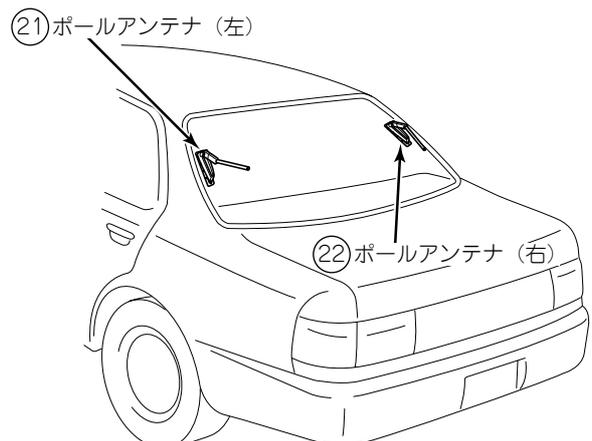
黒セララインまたは、黒セラドットパターンの車両中心方向の端に合わせ



1 ポールアンテナ（左、右）の取付位置を決める。

👉 アドバイス

アンテナ取付ブラケットの底面にL（左）・R（右）表示があります。



—取り付け及び配線—

👉 アドバイス

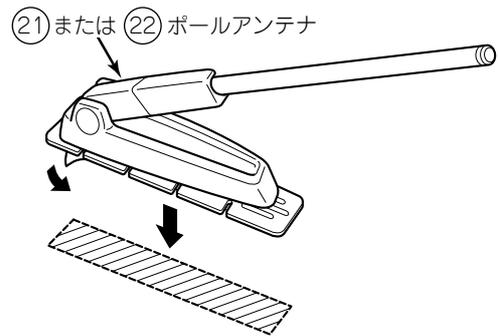
- ガラスの表面温度が低いとき（20℃以下）は、5分間程度リアガラス熱線スイッチ及び車内ヒーターを入れ、暖めてから貼り付けてください。（粘着力をあげるため）
- アンテナ本体やコード等がリアワイパーの動作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- リアガラスの曲面が大きい車は、なるべく曲面の小さい（平らな）場所に取り付けてください。取付ブラケットが十分に密着しない場合は、はがれる危険性があります。

1 取付位置を決め、貼り付ける部分を付属のクリーナーを使用して、汚れ、油分、水分等をふき取る。

2 取付ブラケットのシートをはがし、リアガラスへ貼り付ける。

👉 アドバイス

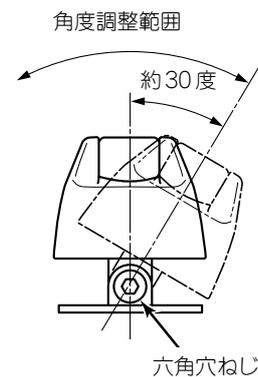
- 車側へ取り付ける前に、アンテナ取付ブラケットをリアガラス形状に合わせて曲げてください。
- 貼り付けた後は、確実に密着するよう十分押しつけてください。



3 六角穴ねじを緩めると約30度の範囲までの角度調整ができます。

👉 アドバイス

- アンテナエレメントが車幅からはみ出さないように調整してください。
- アンテナエレメントの傾き調整には、付属の六角レンチを使用してください。



- 4** リアガラスにコードレール（アンテナ用）を貼り付けアンテナコードをトランク内側まで引き込む。

アドバイス

コードレールは、はさみ等で適当な長さに切って使用してください。

- 5** アンテナコードを防水クッションと両面テープではさみこみ固定する。

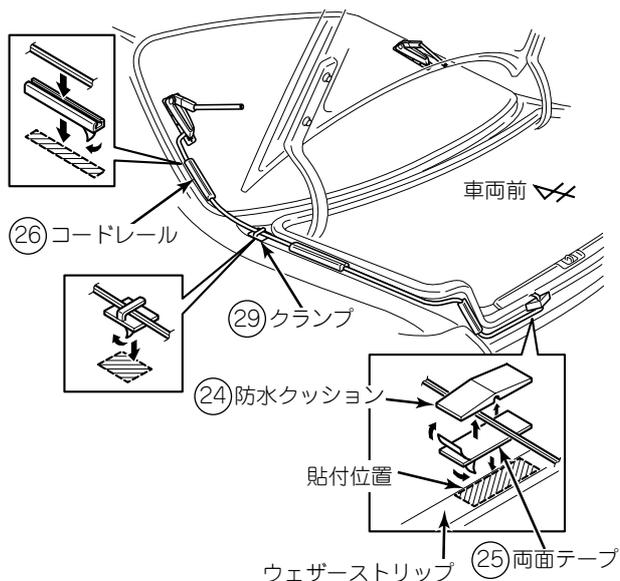
- 6** 防水クッションをウェザーストリップ上に貼り付ける。

- 7** アンテナコードをクランプ、バンドクランプ及びコードレールで固定しながらアンテナセレクト取付位置まで配線する。

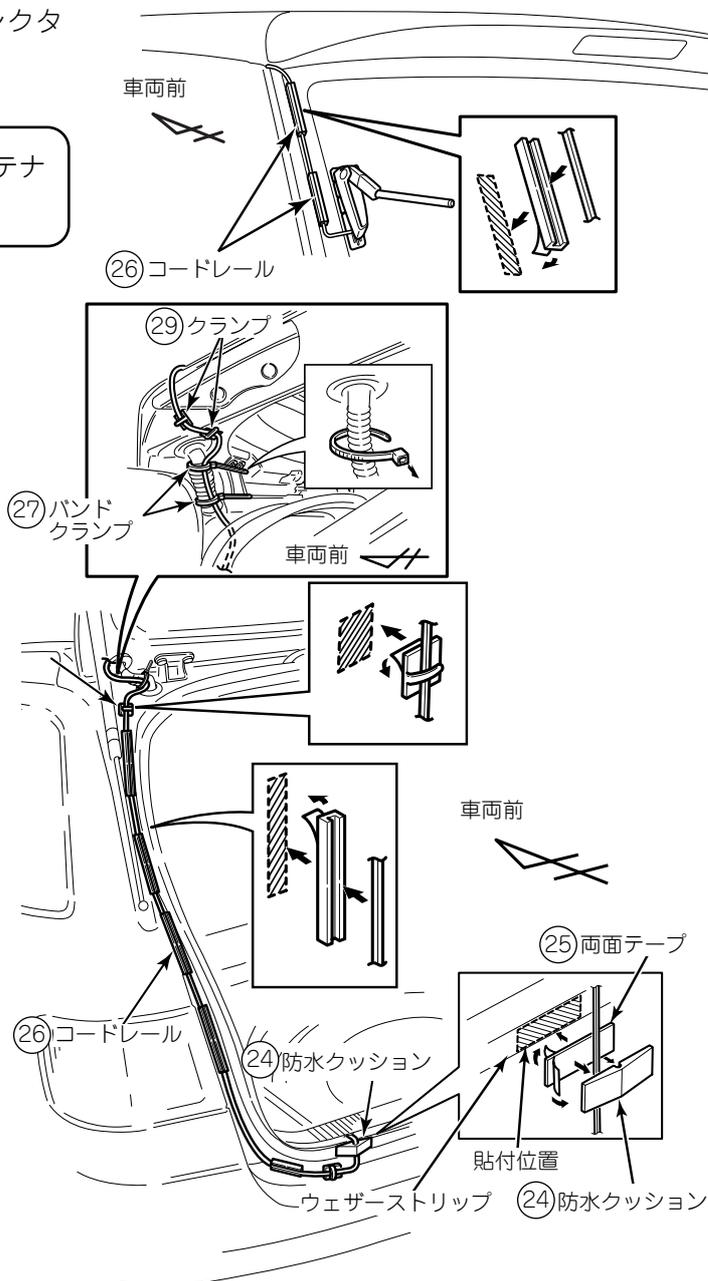
アドバイス

雨水等の侵入を防ぐためトランク部分のアンテナコード引き回しには十分注意してください。

—セダンタイプの場合—



—ハッチバックタイプの場合—



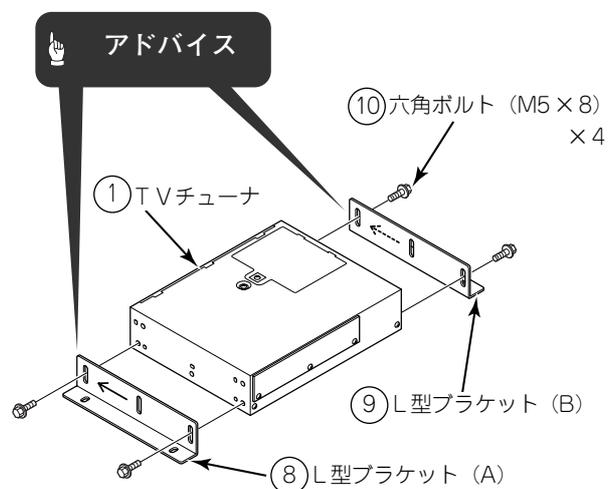
TVチューナーの取り付け

—取り付け例（タッピングねじを使用する場合）—

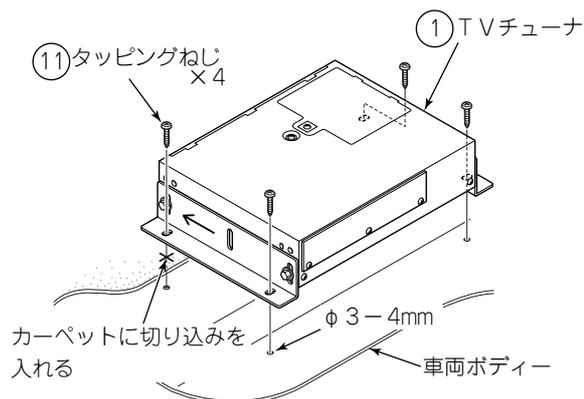
- 1 TVチューナーにL型ブラケットを六角ボルトで取り付ける。

アドバイス

- L型ブラケットに刻印されている矢印が、TVチューナーのコネクタ側に向くように取り付けてください。
- 取付ねじは、必ず付属のねじ（M5×8）を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が破損するおそれがあります。



- 2 TVチューナーをトランクルームに取り付ける。

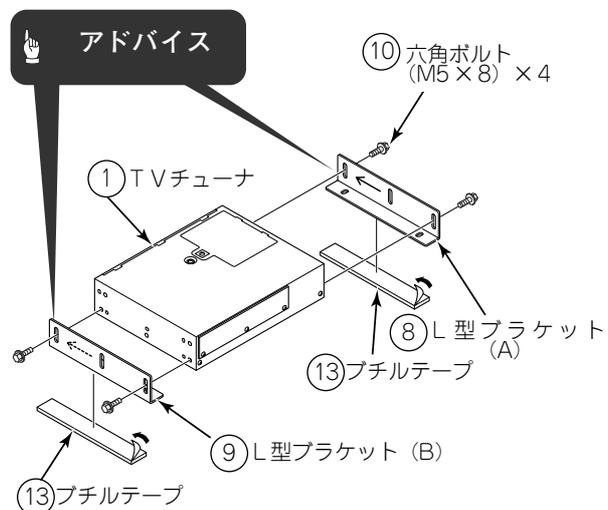


—取り付け例（ブチルテープを使用する場合）—

- 1 L型ブラケットにブチルテープを貼り付ける。
- 2 TVチューナーにL型ブラケットを六角ボルトで仮付ける。

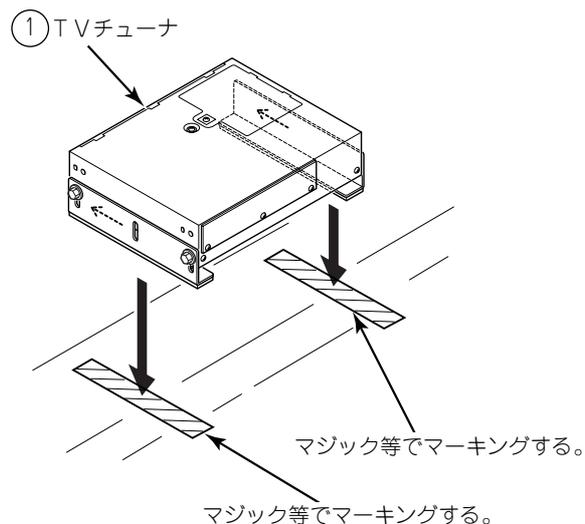
アドバイス

- L型ブラケットに刻印されている矢印が、TVチューナーのコネクタ側に向くように取り付けてください。
- 取付ねじは、必ず付属のねじ（M5×8）を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が破損するおそれがあります。



3 カーペットをめくり車両の平らな場所にTVチューナの取付位置を決める。

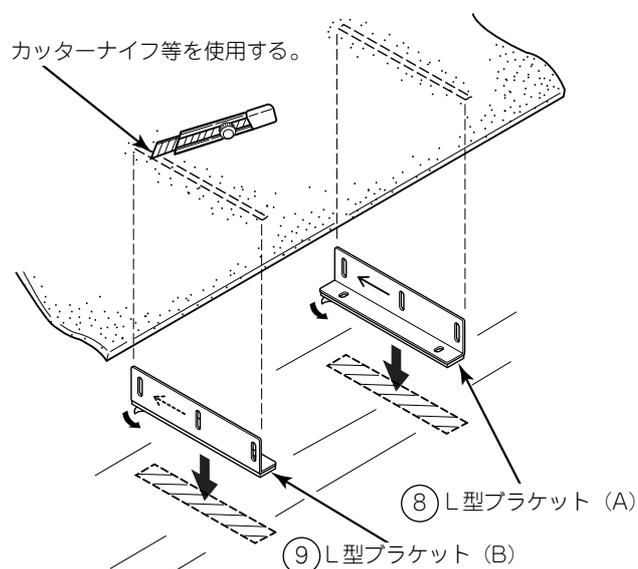
4 TVチューナ取付位置を車両フロアにマーキングする。



5 TVチューナからL型ブラケットを取り外す。

6 車両フロアのマーキングした位置にL型ブラケットを貼り付ける。

7 カーペットに切り込みを入れ、L型ブラケットをカーペットから出す。



8 TVチューナにL型ブラケットを取り付ける。

👉 アドバイス

- L型ブラケットに刻印されている矢印が、TVチューナのコネクタ側に向くように取り付けてください。
- 取付ねじは、必ず付属のねじ (M5 × 8) を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が破損するおそれがあります。

